



## 日常業務にひそむリスクとその対策

社会医療法人岡本病院(財団)  
京都岡本記念病院

ベッドサイドで測定した血糖値などを電子カルテに入力するとき、誤った値が入力されたり、入力自体をすっかり忘れてしまうというインシデントが発生する可能性がある。京都岡本記念病院では、電子カルテ連動のバイタルサイン測定機器を導入することにより、未入力や誤入力のリスク軽減に取り組んでいる。導入の経緯や効果について紹介する。

# 未入力や誤入力、タイムラグの リスク軽減に寄与する 通信機能付きバイタルサイン・血糖測定機器を導入

看護師が  
仕事にやりがい  
感じられるように

京都岡本記念病院は、バイタルサインの未入力や誤入力、タイムラグのリスク軽減に寄与する「HRジョイント」というシステムを導入した。「HRジョイント」は、テルモが開発した電子カルテ連動のバイタルサイン・血糖測定機器システムである。

教育担当副看護部長の下岡美由紀さんは、「臨床現場で働く看護師が本来の看護師の仕事ができる時間を増やしたい、と日頃から感じていました」と話す。

バイタルサインの電子カルテへの入力は大変な看護師の業務だが、それに時間を費やして、ベッドサイドで患者と向き合う時間が少なくなるのは本末転倒というわけだ。

「看護のスキルがまだ確立していない新人看護師たちにも、医療安全面でのストレスを軽減し、看護の仕事にやりがいを感じてもらいたい。HRジョイントのよ

うな電子カルテへのデータ入力を簡便にしてくれるシステムを取り入れることで、理想と日常業務とのギャップに悩む看護師をすこしでも救い、「看護を一生の仕事にしよう」と思える看護師を増やしたいのです」

また、HRジョイントの導入は、バイタルサインの未入力や誤入力リスクを軽減することにもメリットがあるとのこと。

教育担当師長で糖尿病看護認定看護師の加藤久代さんは、「測定値がタッチ入力で転送されるので、記録が正確だと感じました。未入力や誤入力といったインシデントは、看護師のストレスになりますから」と言う。



副看護部長の下岡美由紀さん。「看護師本来の仕事である患者さんのケアに時間を割き、看護師自身がやりがいを感じてもらいたいと思います」

血糖値のタイムラグ改善、  
タイムリーな情報共有が  
大きなメリット

同院は2016年5月に新築移転し、病院名も第二岡本総合病院から改称された。HRジョイントは旧病院のときから使用していたが、移転に伴い電子カルテもバージョンアップしたことから、同年6月の10日間、改めてプレ導入が実施された。

7階東棟師長の加藤陽子さんは、「旧病院のときは、電子カルテのHRジョイント画面と看護記録画面が別々だったの



糖尿病看護認定看護師の加藤久代さん。「未入力や誤入力などのインシデントが減ると、看護師のストレスも軽減できると思います」



5階東病棟師長の佐々野美枝さん。「電子カルテの使い方に慣れてくれば、より業務がスムーズになると思います。今後も業務改善について検証します」

5階東病棟主任看護師の小寺恵さん。「値がすぐに電子カルテに転送されるので、タイムラグがなくなり、医師からの問い合わせも少なくなりました」

5階東病棟看護師の出光麻未さん。「業務がスムーズになったと実感しています。入力忘れもなくなったので、再度測定することもなくなりました」



7階東病棟師長の加藤陽子さん。「各病棟の看護記録委員を中心にすべての病棟に周知したことで、すべての看護師がHRジョイントを使用できました」

7階東病棟看護師の久富三規子さん。「手術後の患者さんの場合、頻繁にバイタルサインを測定する必要があるので、業務時間が短縮されました」

7階東病棟看護師の和田恵美さん。「ベッドサイドで患者さんの顔を見ながらバイタルサインを測定できるようになったことがいちばんうれしいです」



血糖測定機器(メディセーフフィットスマイル)を使って血糖値を測定



血糖測定機器(メディセーフフィットスマイル)を読取りリーダー(PaSoRi®)にタッチすると、瞬時に測定値を自動的に読み取り、電子カルテに送信される

で入力に手間どっていました。今回、電子カルテのメーカーの協力でHRジョイントを使いながら看護記録が入力できるようになり、まず当病棟でプレ導入することになりました。10日間のプレ導入でとくに問題がなかったのので、各病棟の看護記録委員を中心に、全病棟に周知していきました」と言う。

プレ導入では、体温、脈拍、血圧、SpO<sub>2</sub>、血糖値をHRジョイントで試行し、同時にシステムエンジニアによる動作確認なども行われた。

「バイタルサインや血糖値がすぐに電子カルテに自動で転送されるので、タイマーに情報を共有できるのが大きなメリットです。電子カルテは病院のどこに

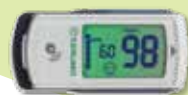
通信機能付の測定機器



テルモ  
メディセーフフィット  
スマイル®



テルモ  
電子体温計C215



テルモ  
パルスオキシメータ  
ファインパルス®SP



テルモ電子血圧計H55



血圧などの測定値が測定した日時とともに電子カルテに送信される

PaSoRi(パソリ)はソニー株式会社の登録商標です

## 多重課題などによる看護師の業務を改善していきたい

看護部長 川上智子 さん

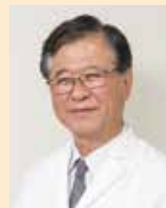


急性期の臨床現場で働く看護師は非常に繁忙です。その要因として“多重課題”“中断作業”“時間切迫”がありますが、業務改善に取り組んではいても、より高度複雑化する医療現場のなかでは思うように進みません。未入力や誤入力への対策は教育しかないのかと悩むこともありましたが、HRジョイントの導入により、すこしでも業務が改善され、看護の質向上と現実とのジレンマに陥る看護師の手助けになるのではと思います。

実際に使用している看護師の評価を聞くと、ほとんどの看護師が「正確な情報をタイムリーに共有できるので使い勝手がよい」と答えています。ただ、看護師によっては使い勝手の評価が分かれることもあるので、より使いやすい信頼できるシステムに改善する努力を怠ってはいけなと思っています。そのためには多職種やメーカーとの協働・連携も欠かせないので、チーム力をより強化していきたいと考えています。

## より安全を確保するにはさらなるブラッシュアップが必要

院長 土井修 医師



今回、看護師の業務を簡便化し、未入力や誤入力を防ぐため、このシステムを導入しました。看護師が専門職として、患者さんとのコミュニケーションやケアに時間をかけることや医療安全に寄与できるように期待しています。そのためには、現在の問題点を少しずつ改善する必要があると考えています。検温表やクリニカルパス、看護計画などとリンクさせて、もっと自由にどこにでも入力することができれば、さらに作業時間が短縮されるはずだと思います。また、患者さんのバーコードを読みとり、その患者さんの電子カルテにしか入力できないようなシステムにしなければ医療安全を確保したとはいええないでしょう。

新しいシステムを導入するとき「慣れれば便利」とよく言いますが、慣れるまでに時間を要するという事は、慣れてもまだ無駄な時間を使っているということです。現状に満足することなく、さらなるブラッシュアップを期待しています。

いても見ることができるので、医師の指示も早くなりましたし、薬剤師も看護師に値を聞かなくても確認できるようになりました」

病棟では患者のケアや処置が優先されるため、看護記録はどうしても業務の最後になってしまい、情報共有が遅くなってしまいうタイムラグが生じる。HRジョイントは、病院全体の情報共有という意味のメリットが大きい。

また病棟では、未入力や誤入力のリスクが軽減したことも実感している。

5階東病棟師長の佐々野美枝さんは、「一度ベッドサイドで紙に書いてナースステーションで手入力する場合、どうしても入力忘れや入力間違いの可能性が残ります。HRジョイントは血糖測定器を読み取りリーダーにタッチすることで正しい値を送信してくれるので安心です。バイタルサイン測定という1つの手技を全病棟で標準化することは、医療安全を担保できるのではないかと考えています」

糖尿病看護認定看護師の加藤久代さん

も、「タイムラグが解消されることで、血糖値の測定から治療までスムーズに連動できると思います。また、測定時間が食事の30分前だったのか5分前だったのかという正確な測定時間がわかるので便利です」と言う。

今後は、HRジョイントのメリットを活かし、看護の質向上に力を入れていくことをめざしている。

加藤久代さんは、「正確な血糖値や測定時間は、患者さんの治療にとってとても大事なデータとなります。そのデータの意味をきちんとアセスメントし、ケアに活かせる看護師を育てたいと思います」と言う。

下岡さんも、「このシステムを使う現場の看護師に導入目的をしっかりと伝え、やりがいを感じてもらおうとともに、看護師本来の仕事を見つめ直すきっかけにしたいと思います」と話した。



京都岡本記念病院では、HRジョイント導入のメリットをより活かすため、今後

もさまざまな視点から検証を行い、評価を続けていくという。

なお、HRジョイントを販売するテルモでは、このシステムを在宅でも活用できるように検討している。また、医療機器の適正使用をはかるため、医療機関の要望などに応じてアレンジ可能なT-PAS研修\*の提案、実施を行っている。



京都岡本記念病院

〒613-0034

京都府久世郡久御山町佐山西ノ口58番地

<http://www.okamoto-hp.or.jp/oka2/>

日本医療機能評価機構認定病院、二次救急、地域医療支援病院、地域がん診療病院、災害拠点病院

\*T-PAS研修：テルモの汎用医療機器（シリンジや輸液セットなど）による事故を防ぐために、添付文書に記載された注意事項のうち、発生する頻度や危険度が高いものを体験して理解する教育プログラム。詳細については、テルモ株式会社にお問い合わせください。